令和7年度　大田区立北糀谷小学校　自己評価　報告書

令和7年5月31日

○　本校の概要

○開校149周年を迎えた歴史のある学校である。学校規模は児童数299人(5月1日現在)、通常級は12学級で難聴・言語障害学級を併設している。学区域外からの入学者が多く、2学級を保っている。
○令和2年度より、キャリア教育を推進している。令和3年度、令和6年度は、大田区研究推進校キャリア教育モデル校として研究発表会を行った。また、令和4年度から継続して文科省国立教育研究所実践検証協力校としての役割を担っている。「主体的に取り組む児童の育成」を目指したキャリア教育の実践は、一昨年度、文部科学大臣表彰を受賞した。また、キャリア教育や学校行事の実践は、東京都を代表として、毎年のように全国大会で発表しきた。
○学校の課題は「主体的に学びに取り組む力の育成」、「発達障がいや不登校など配慮を要する児童への対応」である。研究テーマを「主体的に取り組む児童の育成～キャリア教育の実践～」として、魅力ある教育活動を創出していく。今年度は、高学年と中学年で一部教科担任制を実施し、質の高い授業を目指す。通知表の評価は年間2回とし、児童の発意・発想を生かした取組「未来づくりフェスティバル」を実施する。配慮を要する児童への対応は、校内委員会を中心として関係機関と連携して組織的な対応に努めている。
○地域や保護者は学校に大変協力的であり、地域の人材や環境を活用した様々な教育活動を展開している。<合言葉は「行きたい学校・帰りたい家庭・住みたい地域」>昨年度よりコミュニティスクールとして、一層連携を深めている。

○　自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	
個別目標1 予測困難な未来社会を創造的に生きる力を育成します	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		児童アンケート「わたしは、ものづくりをしたり、プログラミングをしたりすることが好きです」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した児童の割合が 4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満 保護者アンケート「学校は、キャリア教育やプログラミング教育など、未来社会に生きるこどもたちに必要な教育をしています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した保護者の割合が 4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満 ※2つの項目の平均を成果評価とする	4: 3: 2: 1:
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
		④特別活動を要にキャリア教育を推進し、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や実践力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
個別目標2 世界とつながる国際都市おおたを担う人材を育成します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		児童アンケート「わたしは先生やALTと、外国語であいさつなどのコミュニケーションを取ろうとしています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した児童の割合が 4:80%以上 3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満	4: 3: 2: 1:
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
個別目標3 一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力を育成します	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		児童アンケート「わたしは授業の内容がよくわかります」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した児童の割合が 4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満 保護者アンケート「学校は確かな学力をつけるために、わかりやすく指導しています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した保護者の割合が 4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満 ※2つの項目の平均を成果評価とする	4: 3: 2: 1:
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
		⑤読書活動をキャリア教育に位置付けて推進し、豊かなこころの育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
個別目標4 学校力・教師力を向上させます	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		教職員アンケート「わたしは、本校でやりがいをもって働いています。」という質問に対し、「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した教職員の割合が 4:80%以上 3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満 タイムシステムによる超過時間が1か月平均30 時間以内の教員の割合が 4:75%以上 3:60%以上75%未満 2:50%以上60%未満 1:50%未満 ※2つの項目の平均を成果評価とする	4: 3: 2: 1:
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。			
個別目標5 自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		児童アンケート「わたしは学校で安心して過ごしています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した児童の割合が 4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満 保護者アンケート「こどもは、学校で安心して生活しています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した保護者の割合が 4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満 ※2つの項目の平均を成果評価とする	4: 3: 2: 1:
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。			
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
個別目標6 柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境をつくります	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行い、学校の安全体制もできています」という質問に対し、「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した保護者の割合が 4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	4: 3: 2: 1:
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
個別目標7 学校・家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティの核としての学校をつくります	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者アンケート「学校は、地域・社会の教育力をこどもたちの教育活動(授業や夏のわくわくスクール等)に生かしています」という質問に対し、「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した保護者の割合が 4:90%以上 3:80%以上90%未満 2: 70%以上80%未満 1:70%未満	4: 3: 2: 1:
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である　B:自己評価はおおむね適切である　C:自己評価は適切ではない　D:評価は不可能である　の4点について、評価した人数を記載する。